



北海道フェスティバル
2018年7月10日

建設の総合力を発揮し
組織の強化・拡大と
憲法の活きる日本を
つくるうえ



北海道フェスティバル

6月15日～17日にかけて建交労フェスタが北海道札幌市で開催されました。

15日初日は札幌教育会館で開会集会が始まりオーブニングでは（鉄道本部）の皆さんによる「潮太鼓」を勇壮な姿で演奏その中に2歳未満位の小つちやい男の子も交わり力強い太鼓の音と、ほほえましく可愛い動作にしばし目が釘付けとなりました。

同本部委員長の歓迎の挨拶では「この時期70年振りの寒さデツカイ道一ホツカイ道」この広さ鉄道網で成り立っている赤字だから「鉄道を剥がす」国、JRのやり方は才力シイと話されました。

三上智恵監督の「風（かじ）かたか」の実録上映（風（かじ）かたか）とは風よけ・防波堤を意味する。辺野古基地反対の島民の日々の闘い「ゲート前で機動隊の衝突を生々しく捉えた」ドキュメント。沖縄の現実を見ることによつて「どーしてここまで、沖縄の人達が苦しめられ、非国民みたいな扱いをされなければならぬのか・・・」政府は島民に、目を向けることもない。ただ冷淡にアメリ

これでは殺人行為ではないか実写はけして、ウソをつかない私達、国民党知らない見ることも出来ない、今もおこつていてこの現実、最後は怒りと、が響き渡つていました。

普段まったく縁のないパークゴルフやり始めると大変楽しく様々なかっこから笑いと悲鳴、歓声

午後からのオプショナルでは4つのコースに分かれ、私達田川の女性は小樽での自由散策）を見学、観光コースに沿つたエリアを歩いて回りましたが、途中で足腰が痛くなり早々にバスに引き返しました。

記念講演で監督の言わることはこの映画を通して沖縄から伝えたいことを参加者に訴えられました。「沖縄辺野古基地、高江ヘリパッド建設、島民を中心とした反対闘争

像の中では一人の女性が抵抗する際、首にロープが巻き付きそれでも強引に引っ張ろうとする警備、

の姿・宮古・石垣における自衛隊基地建設、米軍の軍事戦略に日本全体が組み込まれている状況！

最終日の17日（日）札幌教育会館に戻り閉会集会が行われこれまでの三日間の工程を通した仲間達の姿をビデオに収めたビデオムービーが上映され、振り返り見る事が出来ました。

また角田中央委員長の講演では、「建交労のこれから」と題して、建交労結成20年を迎える組織と運動の情勢や合流前の三単産の歴史を織り交ぜながら「福岡県本部の特徴、活動の在り方」などを話され又改憲阻止や、要求闘争の前進を目指し、組織拡大で頑張ろうと組合員に呼びかけられました。決意表明として参加者を代表して最年少（19歳）関西合同支部の藤井さん、最年長（91歳）広島支部の廣木さん他2名の仲間が元気に発言されました。最後に会場全体で記念写真を撮り閉会となりました。「北海道での建交労フェスタ」は全国各地から360人が参加成功裏に終えられました。

書記長 杉峰みどり



ソーシャル事業部で
元気で働いています

私達はソーシャル事業部で
働いています。5人で二つの
公園の清掃をしています。

一ヶ所は石炭記念公園「山本作兵衛さんの記憶遺産」が

ある所朝八時から二時までと成道寺公園を5人でお昼までの月9日間です。それと後二カ所それぞれ一人ずつお昼までですが、田川市の清掃は7人でしております。福智町でも

5人働いています。その他に特別作業班でも5～6人働いています。一日の仕事です。

はかり熱くがるの、多くにあります。公園清掃も特別作業班も高齢です。私たち高齢者

の為に組合も力になつてくれ
てはいるので助かっています。

衝している仲間も年齢が同じくらいなのでお互いが思っているのをつて楽しく仕事が出来

やりあつて楽しく仕事が出来
感謝をしています。この年齢
で動く場所があるので幸せで

す。年金だけでは生活してい
けません。安倍首相年金の見

直しと若者の働き場所を考え
てください、そして正社員で

雇用すれば健康保険・年金等を掛ければ、老後は明るくな

るのではないでしょか。安倍首相が国民を苦しめている

のでは、一度政界から退いた
らいかがですかお願いいいたし

ソーシャル事業部

增井美智江

雄安北道
フエスター

6月15日～17日建交労フエ
夕に、始めて参加する事に
なり北海道へ杉峰、後藤、内
山の3名で参加しました。



三才圖會

と2人で行った時を思いたし
ました。 私達は当日開会に間合わない
ので前泊する事で前の日6月14日に福岡空港へ11時45分
発の札幌行きに搭乗しました。 翌日15日12時30分より開会、
映画「標的の島」風（かじ）
かたか」を観ました。 終わつて少し遅れて、三上智恵監督の記念講演があり沖縄から伝えたいこと、撮影を通してこの映画を作つたそうです。

標的の島とは日本列島を指して題名を作つたとの事でし

そして参考者の感想決意表明など一人3分と言う短い時間でしたが、皆さん立派に発言していました。 明など一人3分と言う短い時間でした。 全体の記念撮影を行い、飛行機の時間が出て飛行場へ疲れたけれど思い出に残るフェスタでした。

執行委員 内山久子

ことはない早く退陣してもらわないと、と言つて文句を言つていました。その他には T E L すると今出かける所なので書いて良いよそれと子供の住所と名前を教えてもらつた「戦争になつたら大変」と言う事でした。もう一人の仲間の家に行くには田んぼの中に建つてるので道路から農道の細い道に入らないといけない、そこは道路から 2 メートルぐらいの高低差がある所を入つて間もなく車の前輪の右側が落ちました。

田んぼの中に仰向けにひつくり返えつた、車を買い替えたらしい気の毒だつた又息子の友人の車もイヤを落としたと言つた、あんた良くなかつたね良かつた。

その後が大変だつた保険の人にはTELして車を引き揚げてもらつたり、隣の人にもお世話になつたので、お礼を行つたりと大変だつた。友達の言うには、だから来ていいと言つたのよ、だつて、こんなことになるとは

思わなかつた。私はブリルに歩きに行つてゐるのでそこ
の友達にも署名してもらつた

り、TELして、しりあいにも頼みました。書いていいよと、言う人には書かせてもらつ

ています。又家の前を親子で行き来しているのを見て挨拶するようになつていたので頼

んでみると書いてくれました。

いる。ともあれ、一度の署名行動ではいろんな事が解つてきました。亡くなつてゐる

人や園に入っている人や色々
様々です。子供さんの所に行つ
ているのか連絡の取れない人

もいました。とにかく早く3000万署名を成功させたいなと思っています。

執行委員
後藤桂子